

コスモス

ワンポイント講座23 インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザに感染した人の咳は、空気中にウイルスをばらまきます。それを吸い込むとウイルスに感染しますので気をつけましょう。インフルエンザは強い全身症状から始まり、38度以上の発熱・頭痛・筋肉・関節痛などの全身症状が強く、あわせてのどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。普通の風邪とは異なりますので、早めに医療機関での検査をおすすめします。

- 6つの予防法をご紹介します
1. 帰宅したら、手洗い・うがいを忘れずに
 2. 人混みを避ける
 3. 温度、湿度を適切にコントロール
 4. 規則正しい生活リズム
 5. インフルエンザワクチンの接種
 6. 積極的な水分補給



手洗い…ウイルス粒子を洗い落せば感染のリスクは低くなります
うがい…ウイルスと細菌との関わりを断つことができます
マスク…マスクを使用することで口や鼻に触れる機会は少なくなります
苑内感染予防のため、当苑では外来・職員出入り口に手指アルコール消毒液を設置し、マスクの着用を呼びかけております。



(看護職 左藤 昇子)

明星苑コスモス ZOOM UP

8月 夏祭りを開催しました
今年も地域の皆さんと楽しく、盛り上がりましたよ。



入所者と職員による出し物は、「村まつり」「五輪音頭」「お祭りマンボ」です。しっかり練習をしましたからね。職員のおもしろ・おかしな動きに、皆さんも大笑いです。当苑の夏祭りは、出店の料理も毎回評判です。今年はカレーライスとたこ焼き、フライドポテトを新たに、「オイシイ!」と人気も上々。またたく間に完売しました。

東国分アロハ会の皆さんの南国ムード溢れるエキゾチックなフラダンス。会場を柔らかいムードに包んでくれました。



正福寺幼稚園の園児さんによるかわいい踊りと楽しい歌

11月1日「ショートステイ」を開設しました

一時的な入所にご利用できます。介護なさる方が、入院や介護疲れ、冠婚葬祭、旅行などで、介護ができなくなった時、一時的にこのサービスをご利用ください。

短期間の入所をしていただき、看護や医学管理のもと、介護などの必要な日常生活上のお世話をいたします。



1人部屋 トイレ・洗面所も備えています。

医療法人八十八会
ツジ胃腸科医院から、
「こんにちは!」

10月 ツジ胃腸内科医院は
「MRI」を導入しました

高度医療機器を駆使し、
正確な診断治療を
目指してまいります。



ツジ胃腸内科医院と
ケアハウスコスモス21の
看板が変わりました

緑とピンクの色が目印です。



地域の皆さんの健康維持と病気の早期発見、
医療から介護への円滑な橋渡しに尽力してまいります。

ツジ胃腸内科医院 院長 辻 吉保

みなさん、こんにちは。

明星苑コスモスでいつも元気にリハビリやレクリエーションに参加されているお姿を見て、とても嬉しく思います。現在は診療が忙しいのですが、学生の頃は明星苑コスモスで実習させて頂いたことを思い出しながら、あれから15年経った施設を見回っております。

当院は医療施設でリハビリを長期的に行うことができませんので、退院後には身体機能回復・維持を目的として明星苑コスモスでデイケアをご利用頂いております。スタッフと一緒に日々楽しく過ごして頂けるように努力してまいりますので、私を見かけたら、是非お声をかけてください。

また、平成24年10月に入りまして、骨・関節・椎体圧迫骨折や脳梗塞、胆道系疾患、婦人科系疾患の早期診断を目的としてopen型MRIを導入させて頂きました。従来よりも画質が向上しており、狭いところが苦手な方や長時間の検査を苦痛に感じる方にも比較的楽に検査が受けられるように配慮いたしております。

今後も地域の皆さんの健康維持と病気の早期発見、医療から介護への円滑な橋渡しに尽力していく所存でございますので、私を含め、スタッフ一同、長く、温かい目で見守って頂けますようお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしております。

はい、こちらに注目!

訪問介護事業所「コスモス」です
訪問介護事業所「コスモス」は、スタッフ11名です。利用者の皆様が安心して住み慣れたご自宅で、日々充実した生活を続けられるよう心温まるケア・サービスを目指しています。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



ボランティアタイム

皆さんの笑顔に会いたくて、
グループホームこすもすを2ヵ月に1回訪問。



いなほの会は、2ヵ月に1度、当ホームを訪問し、歌や踊りを披露されています。代表の篠原定芳さんは、「ボランティアをしている私たちも楽しかったと思える時間にしたいです」と話します。中でも『知覧の母』はリクエストを受けるほどの人気。利用者の皆さんの多数が感極まって涙を流すとのこと。「次回も歌ってほしいと言われると感激です。皆さんの笑顔にまた会いに行きます」

特集

10月、ツジ胃腸内科医院は最新機器の「MRI」を導入しました。

高度医療機器を揃え、総合的で正確な診断治療に一層努めてまいります。

ツジ胃腸内科医院は、1973年(昭和48)の開院以来、地域医療に邁進してきました。以来、最新医療機器の導入を、適時おこなっています。患者の皆さんにご満足いただける診断治療には、高度医療機器が必要です。今回、内視鏡検査技師の木下さんと臨床検査技師の大場さんにお話をお聞きし、その一端をご紹介します。

MRI検査

高性能の「MRI」で、病気をより正確に発見！

MRI検査とは、強力な磁場と高周波を組み合わせて撮影する検査で、「磁気共鳴画像撮影」とも呼ばれます。縦、横、斜めと角度を変えて体の断層像を鮮明に撮影できます。CT検査では、骨の影響でなかなか写せない小さな脳梗塞や脳幹部の病変、腰椎椎間板ヘルニアや靭帯損傷など骨以外の運動器の異常を見つけることができます。前立腺や子宮、卵巣などの下腹部の検査にも有効とされています。また、X線を使わない為に、放射線による被曝の心配がないことも大きな特徴です。

マルチスライスCT

より短時間の検査が可能に

X線によって、体を輪切りにした断面の画像を撮影できる検査機器です。当院の機器はマルチスライスCTといい、より短時間で精密な三次元画像が撮影でき、被曝量が少なく済みす。心臓などの胸部から肝臓などの腹部まで体のすべての部位を撮影できます。

マンモグラフィ(乳房専用X線)検査

乳がんの早期発見を！

乳腺や脂肪細胞などの柔らかい組織でできている乳房全体を、X線で立体的に写しだします。小さなしこりだけでなく、乳がんのごく初期の症状である微小な石灰化を発見できるため、早期治療へと結びつきます。

エコー検査(超音波検査)

体への負担が少ない検査

超音波を体内にあてて、反射してでてくる画像を診断します。腹部臓器はもちろん、乳腺、心臓、甲状腺などを調べる検査に用いています。これとは別に、動脈硬化を早期に診断できる「脈波検査機器」も設置しています。

内視鏡・小腸用カプセル内視鏡

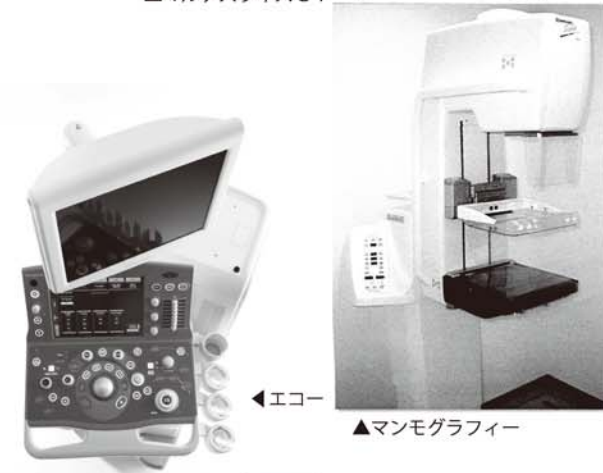
小腸用カプセル内視鏡 ギブソ・イメージング社
ビタミン剤より少し大きいサイズで、高精度カメラが内蔵されています。カプセル内視鏡をゴクんと飲んでもらい小腸を観察・撮影します。原因不明の消化管出血などの方に有効です。



▲MRI



▲マルチスライスCT



▲マンモグラフィ



◀内視鏡

▼小腸用カプセル内視鏡

医療機器についてスタッフにどうぞお気軽にお尋ねください

SPECIAL TALK 百歳万歳!!

「さざんかの宿」「荒城の月」が 堤 トモエさん 98歳
持ち歌。カラオケが大好きです! 大正3年12月19日生まれ 明星苑コスモス

まもなく100歳になる堤さんは、バスの車掌や日本ゴム(現・株)アサヒコーポレーション)などで一生懸命に働いてきた女性です。

長生きの秘訣は、食べ物の好き嫌いがなく、スタッフのお話では、朝昼晩の食事は残さず食べておられるそうです。また、無類の猫好きでもある堤さん。「猫のミーちゃんは、元気やか?」と、昔飼っていた猫のことを心配してつ

ぶやきます。お喋りも大好きで、「トモエさん」と呼びかけると「はい」としっかりしたお返事。「好きな言葉はありますか?」「なんじゃろかな?」こんな会話で私たちは思わず微笑んでしまいます。周りの皆さんの心を和ませる、おらかな性格の堤さん。

お話を有難うございました。



▲カラオケ大好きです。マイクを握ると、一段とお元気になりましたよ。

PHOTO SKETCH

グループホームこすもす

10月恒例の運動会
白組紅組の応援合戦
熱気ムンムン



運動会の選手宣誓に登場したのは、白組の田中さんと紅組の溝口さん。田中さんは「紙を見ることはいらん」と言い、スラスラとご自身の言葉で宣誓。溝口さんも元気に宣誓。お二人ともまるでオリンピック宣誓のような見事な姿でした。競技の目玉はサッカーブームにあやかっ『ボール入れ競技』。ホーム長の棚町澄江さんは、「ゴールへなかなか入らず、惜しい、入った!という歓声があがって、大変盛り上がりました」とにっこり。約2時間の運動会は、棒入れや玉入れ、応援合戦と続き、スタッフも利用者の皆さんも白熱したものとなりました。



グループホームこすもすII

9月国分祭り
校区文化祭へ
お出かけしました



今回の校区文化祭にも、利用者の皆さんが作った手編みのケープやマフラー、ぶどうの壁絵などを出品。地域の皆さんの作品とともに、コミュニティセンターに所せましと飾られていました。皆さんは、「これはすてきだわ」と作品を見ながら、立ち止まって会場の方々とおしゃべりも楽しんで、笑顔。帰りは、センター横の日吉神社に立ち寄って参拝しました。ホーム長の永尾澄子さんは、願い事をする皆さんの姿を見ながら嬉しそう。「あれ?二拍手一礼でしたか?と、皆さん顔を見合わせ、思わず笑いがこぼれましたよ。お出かけで、さわやかな秋を堪能しましたね。



日吉神社に参拝。何をお願いしたのかな?

ケアハウス コスモス21

赤組と青組に分かれて
楽しい運動会
ますます仲良しになりました



今年は、全員参加の運動会を開催しました。赤組と青組に分かれ、参加された皆様が協力し合いながら総合優勝を目指し頑張りました。

競技種目は、箱相撲と輪投げです。箱相撲は、微妙な心理作戦模様に一喜一憂の歓声が上がリ、盛り上がりも最高!また、椅子に座っての輪投げは、普段使わない身体のリハビリを兼ねたもので、皆さんはノビノビ動いていました。ゲームの佳境では思わずお尻が椅子から離れるという禁じ手のハプニングも。参加者全員の親睦が深まり、楽しい一時でした。

